

2017年9月22日

軽井沢セミナーハウス再建にご支援くださった皆様へ

学校法人 聖学院  
理事長 清水正之

### 軽井沢セミナーハウスに関するお知らせ

主の御名を賛美致します。

日頃から学校法人聖学院の教育のためにご支援をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

皆様の様々なご支援の中でもASF（オール聖学院フェローシップ）募金を通して頂戴致しました寄付金は、聖学院に集う園児、児童、生徒、学生、大学院生までの学びや学校生活のために感謝をもって活用させていただいております。

ASF募金の中でも軽井沢セミナーハウス再建のために多くのご寄付をいただきましたが、当セミナーハウス用地を先に開催した（2017年9月11日）臨時評議員会及び臨時理事会で売却することを決定致しました。つきましては、ご寄付いただいた皆様にご報告致しますとともに、売却に至った経緯を説明させていただきたく存じます。

当セミナーハウスは、老朽化が進んだこと、及び周辺から山から熊や猿が敷地内に出没するようになったこともあって、2009年度の利用を最後に施設を閉鎖し、現在は廃屋になっております。2010年度には、再建のための募金計画を夏期特別理事会で検討致しましたが、2011年3月に発生した東日本大震災に端を発し、耐震基準をクリアしていない聖学院幼稚園を優先して建て替えることを決定し、その後引き続き老朽化が進んだ聖学院小学校の建て替えに資金を投入することになり、当セミナーハウスの再建計画は頓挫する形で現在に至りました。

一方、この間、聖学院諸学校の児童・生徒・学生の総数が少子化の進行に伴い減じたことにより、学校法人は健全財政を維持するための諸策の一環として、2012年度以降、不動産の一部整理を進めて参りました。

今年5月に軽井沢町の不動産会社から当セミナーハウス用地を購入したいとの依頼がありました。当セミナーハウス用地の実勢価格が6000万円から1億円の範囲であることを調査によって把握していたこともあり、交渉の結果売却価格が1億6000万円になったため、評議員会及び理事会は、当セミナーハウスの現状や環境、また法人の財政、

将来の見込み等を総合的に鑑みて、十分に協議を重ね熟慮した末に、当セミナーハウス用地を売却することを決定致しました。

当セミナーハウスは、1941年に当時の女子聖学院院長 平井庸吉先生が教職員、保護者、卒業生から贈られた藍綬褒章・古希のお祝い金を全額寄付されたものを基とし、学校の備蓄をそれに加え購入されました。以来、主に校外教育施設として女子聖学院中学校高等学校や聖学院小学校の宿泊行事で利用するとともに、聖学院各校・各園の卒業生及びその家族、教職員のための保養施設、及び教会等の修養会のための施設としても多くの方々に利用していただきました。

売却に伴い皆様から頂戴致しました当セミナーハウス再建への寄付金は、歴史的経緯及び寄付者の方々の所属校割合を踏まえ、主として女子聖学院中学校高等学校の教育活動の促進及び施設設備等の充実のための資金としてその目的を変更し、併せて売却益も同様に学校法人内諸学校の将来計画のために特定預金として留保することを理事会は決定致しました。皆様の深い愛着と良き思い出のある軽井沢セミナーハウス用地を売却することは苦渋の決断でございますが、何とぞご理解を賜わりたくお願い申し上げます。

このたびの軽井沢セミナーハウス用地の売却を機に、本法人理事会はミッションスクールの使命を果たすため、学院の将来構想に向けた計画の取り組みを更に速やかに実行し、園児・児童・生徒・学生等一人ひとりに豊かな実りがもたらされるよう鋭意努力してまいります。皆様各位には、今後も変わらぬご支援を賜わりたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康と神様からの祝福をお祈り申し上げます。

在 主

【本件担当】

学校法人聖学院  
法人事務局 総務部総務課

担当：岡部、宝珠山<sup>ほうしゆやま</sup>

TEL：03-3917-8345

Email:secretary@seigakuin-univ.ac.jp